

道内研修B ～自然環境テーマ～



日時 2016. 8. 1～3

参加生徒 1 学年理数科 20名

研修先 十勝岳連峰

東京大学北海道演習林（富良野）

三笠市立博物館

講師 北海道庁 南里智之氏

東京大学助教 坂上大翼氏

東京大学北海道演習林(富良野)技術職員の方々

三笠市立博物館学芸員、三笠ジオパークガイド

本校教諭 植木玲一

概要 大学演習林で、北海道中央部を代表する冷温帯汎針広混交林の植生調査を行い、自然環境を解明するためのフィールド調査の手法を学ぶと共に、植生垂直分布及び火山噴火による大規模攪乱の影響を学びました。また、世界有数のアンモナイト化石の産地である三笠博物館等で、北海道の形成史を学びました。

- 8.1 十勝岳連峰植生垂直分布観察、大正泥流堆積物の観察及び当時の被災状況の考察、坂上氏による講義「富良野演習林（北海道の天然林）の説明」
- 8.2 東京大学北海道演習林実習（植生調査、大規模攪乱（風害・山火）についての調査）、調査データのまとめ
- 8.3 三笠市立博物館、三笠ジオパーク見学